



# 碧南ロータリークラブ週報

第2713回例会 平成26年11月26日(水)

- 会長 石橋 嘉彦
- 幹事 伊藤 正幸
- 会場監督(SAA) 清澤 聡之

2014-2015 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内  
TEL<0566>41-1100  
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>  
E-mail: info@hekinan-rc.jp

- 例会場 碧南商工会議所ホール  
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90  
FAX<0566>48-1100

- 会報委員 奥津順司・藤関孝典・岡本彰人



## ● 斉 唱

ロータリーソング「ロータリー讃歌」

## ● 本日のメニュー

季節のお弁当 小伴天

## ● 本日のお客様

碧南市藤井達吉現代美術館 主任学芸員 浅野泰子様

## 会 長 挨拶

本日は会長がお休みという事で、私が代理で挨拶させていただきます。本日の講師の方は、藤井達吉美術館より来て頂きました。

この前、美術館で鉄の加工の展覧会がありました。それでどうやって削ったの、と言われます。伊藤先生からは真心がないと削れないね、と言われました。

本日もよろしくお願ひ致します。



平松太副会長

## 幹 事 報 告

本日は6点ほどご報告させていただきます。

- ・ 例会変更等は幹事報告書の通りですので、お目通し下さい。
- ・ 国際ロータリー日本事務所より、ロータリーレート変更のお知らせがきております。112円となっております。
- ・ 11月24日の月曜日、葵カントリークラブにて開催されま

したガバナー補佐杯において、我が碧南 RC が団体優勝を勝ち取りました。ご参加頂きました選手の皆様、ご健闘に感謝申し上げます。また、来年の補佐杯も多くの皆様のエントリーをお願い致します。



伊藤正幸幹事

- ・先週に引き続きまして、純ちゃんのコーナーの書籍購入希望の名簿を回しております。ぜひ、購入をよろしくお願い致します。
- ・本日、講師でお越しいただきました浅野泰子様より、伊藤廉美術展の招待状を頂きました。どうもありがとうございました。
- ・12月3日例会終了後、201号室にて第6回理事会を開催致します。理事、役員の皆様はご出席をよろしくお願い致します。

## 委員会報告

### <出席奨励委員会>

総会員数 69 名 (内出席免除者 17 名の内出席者 13 名)出席者 54 名	
出席対象者 54/65 名	出席率 83.08%
欠席者 15 名(病欠者 0 名)	前々回修正出席率 100%

※三週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

### <ニコボックス委員会>

- 伊藤 正幸君** 月曜日に開催されたガバナー補佐杯にてベスグロ&優勝いたしました。先週の夜間例会は楽しいひとときを過ごしました。ありがとうございました。
- 山中 寛三君** 本日の卓話の講師を紹介させて頂きます。
- 杉浦 勝典君** さる、11月11日「旭日小綬章」の伝達式の後、皇居に於いて、天皇陛下より日本国産業界への功績に対し労をねぎらいと、暖かいお褒めの言葉と、これからは健康に留意して過ごされて下さいとお励ましの言葉を頂きました。感謝、感激をしました。有難うございました。
- 小笠原良治君** 「往く道は精進して、忍びて終わり、悔いなし。」私にはとてとても無理です。…が、残された人生・時間、精進して少しでも理解できればと思います。  
RCバッチどうするか？ ポチポチケジメをと思っています。会員としての最低の資質である出席義務を考え検討します。  
碧南の麒麟のおやつタイプです。皆様でご賞味下さい。
- 清澤 聡之君** 11月21日早朝、メーテレの「どですか！」の番組で、「ウルフィーと踊ろう！！」が西方寺を舞台に生中継があり、愛娘と私が映りました。多くの参加者の方々、ありがとうございました！
- 森田 雅也君** 黒田泰弘さんにお世話になりました。
- 角谷 修君** ゴルフ例会にて優勝させて頂きました。ありがとうございます。
- 大竹 密貴君** 長田昌昇さん、先日はどうもありがとうございました。
- 奥津 順司君** 24日ガバナー補佐杯ゴルフコンペに遅刻したうえ、ハンデキャップに恵

まれ7位になってしまいました。ごめんなさい。

岡島 晋一君

先日、中京テレビにて弊社「オリーブ白しょうゆ」がギフト特集で取り上げて頂きました。

## 卓 話

### 「伊藤廉について」

碧南市藤井達吉現代美術館 主任学芸員 浅野泰子様



浅野泰子様

ご紹介に預かりました、碧南市藤井達吉現代美術館の浅野でございます。本日はお招きありがとうございます。

碧南 RC の皆様には、開館にあたり大変なお力添えを頂きました。現在もご支援賜っております。開館準備中はどうなる事かと思いましたが、無事にオープン出来、7年目を迎えております。ここまでこれましたのは皆様のお陰だと思っており、深く感謝しております。今後ともよろしくお願い致します。

伊藤廉さんは1898年に生まれ、1920年に現在の東京芸術大学に入りました。当時、大学は卒業制作時、2枚の課題を出しました。1枚は自由に、もう一枚は自画像でした。ちなみに伊藤さんの作品は、戦争でだいぶ焼けてしまったので、お若い時の作品は大変貴重なものになります。在学時から、大きな大会にも入選しており、幸先の良いスタートだったと思います。

1927年にフランスへ渡り、3年間絵の勉強をします。当時は船で移動しました。スライドで、「パン」と「船大工」という作品を見て頂いておりましたが、1920年台というのは、暗い背景が特徴でございます。「船大工」という作品は、市にゆかりのある作品という事で平成23年に買ったのですが、100万円というお値打ちでした。

伊藤廉さんは、フランスに拠点がありつつ、イタリア、スペイン、ハンガリー、ドイツなど、ヨーロッパの主要各国を周り、様々な絵を見て勉強しております。それがよく分かるのが、「ポンペイ壁画模写」という作品です。ポンペイの壁画を模写したものです。

伊藤廉さんの作品のおもしろい所として、女性像の目の特徴です。目で表情を作るのは常套手段なのですが、伊藤廉さんはそれをせず、目で語らず、人物のかたまりとして表現しております。

1930年、3年間の勉強を終えた後、今度はシベリア鉄道を使い、日本へ帰ってきます。第17回二科展に特別陳列し、二科賞を受賞し、画家としての地位を確立します。同年に、独立美術協会の創立メンバーとなります。そこを舞台として活動を始めます。

1932年、娘さんをわずか5ヶ月で亡くしてしまいます。それを機に人物を一切描かなくなります。西洋美術では、人の姿を描くというのは重要な要素でした。それぐらい娘さんを亡くしたのが相当なショックだったと思います。

1937年の「水牛の喧嘩」という作品は、愛知県美術館にあります。これは下絵も残っているという貴重な作品です。

1935年の「柘榴・無花果」という作品は、当館館長が非常に好きなのでパンフレットの表紙にも使用しておりますが、フランスのセザンヌの作品をモチーフにしているのではないかとされており、セザンヌのおもしろい所は、一箇所からの視点で描くのではなく、色々な視点を組み合わせ、描きます。ある物は上から、ある物は斜めから見た姿を一つの絵の中にまとめる、というものです。セザンヌの研究の成果が現れていると思います。

伊藤廉さんの作品では、無花果が多数描かれています。無花果の木も描かれた作品もあるぐらいなので、おそらく自宅に無花果の木が生えていたのだと思います。

1939年、お体を壊し、富士見で療養生活をします。そこで戦中を過ごすわけですが、「高原雨上がる」という作品は、そこでの作品となります。

また、その後先輩に声をかけられ、東京美術大学の講師になります。戦後の伊藤廉さんの活躍は絵を教えるだけではなく、文章でも活躍されております。美術の人しか分からないような難しい言葉を一切使わず、美術がなぜ必要なのか、などを説いた本や、優れたエッセイが多数あります。

「鳩のいる窓際の静物」という作品は、ご自宅の2階から描いた作品です。机の上に果物や水差しがあって、机はカーブを描いておりますが、その先の手すりもカーブを描いております。曲線だけで成り立っているのではなく、縦の線があるなど、中々凝った作品となっております。

東京芸術大学の講師をやっている時に、当時の愛知県知事が伊藤廉さんの自宅までやって来ます。愛知県立芸術大学の設立にご尽力されます。学部長として多くの人を育てます。山中信天翁さんの弟の孫だったり、愛知県の美術行政とも深い関わりがあるわけです。

最晩年になると、水彩画が目立ち、セザンヌを意識した作品となります。

伊藤廉さんが亡くなってから30年振りの大きな展覧会です。これまで公立の美術館で伊藤廉さんの展覧会が行われた事はありませんでした。そういう意味でやる意味はあると思っておりますが、藤井達吉さんもそうなのですが、やはり人の目に触れるという事がないと中々評価も進みません。目のある人は分かっていたのですが、あくまで知る人ぞ知る存在でした。当館ができ、様々な活動をしていく中で、藤井達吉さんはこんな人なんだ、という話が広まっていき、全国で開かれる展覧会もごさいます。伊藤廉さんもタイミングがなく、展示される事もごく僅かだったのですが、これを機に再評価が進めばいいなと思っております。

スライドでいくつか見ていただきましたが、実際に見てオーラを感じ取って頂きたいと思っております。お忙しいかとは思いますが、来年の1月12日までですので、ぜひ一度お越し下さいませ。本日はありがとうございました。

## 次回例会案内

平成26年12月10日（水）

卓話「リバタリアンは復活したのか」

弁護士 白濱重人氏